

情報通

発行：東京税理士会
 情報システム委員会
 題字：山川 巽(江東東)

「情報通」が別冊になりました。

これまで本紙の一部を構成していた「情報通」ですが、今月号から案内版とともに別冊としてお届けすることといたしました。税理士事務所のIT化や電子申告に関する最新情報、また連載記事の保存等にお役立て下さい。今後ますます内容を充実させる所存ですので、当委員会から発信される情報にご注目ください。

なお、情報通のバックナンバーは、本会ホームページからもご覧いただけます。

東京税理士会ホームページ(<http://www.tokyozeirishikai.or.jp/>)→「税理士の方へ」→「税理士のためのIT講座」→「情報通バックナンバー」へアクセスしてください。(情報通バックナンバーへのアクセスには、パスワード等は不要です。)

走れ電子申告！

情報システム委員会委員
 奥澤 誠 (浅草)

e-Tax推進ランナー、東京マラソン参戦



「東京マラソン2011」が2月27日に開催された。我が支部のある浅草は、雷門前が折り返し地点となっており、さらに観光名所でもあるということで、毎年一番盛り上がるコースになっている。

今から2年前、浅草支部情報システム部の会議後の飲み会で、電子申告推進を話題に今後の運動方法などを話していた時、

「もし人が集まる場所でイータ君着ぐるみ(写真①参照)が登場し、皆の目に留まったらかなりアピール出来るよね。」
 なーんて会話をしていた。



①支部・税務署の応援団とイータ君の着ぐるみ。

「お祭り、サンバ、時代祭・・・何がいいかな？ そうだ！東京マラソンだ。あれなら長い時間目立つ動きができるし、折り返し点でテレビに映るかも。でも推進ランナーもほしいよね。よし俺が申し込んでみよう。」
 ...飲んだ勢いで

てつい言ってしまった。ちょうど8月の時期で「東京マラソン2010」の申し込み期間であり、次の日にサイトから申し込んだ。でも当たったらどうしよう？などと不安な気持ちを持ちながら。

10月初め、当選のメールが入った。

「うそホントに当たっちゃったよ。やばい！でもやるしかない。」

次の日から毎朝トレーニング。剣道、空手など無酸素運動に近い事は長年鍛えている自分だが、有酸素運動たるマラソンは初めての事だ。しかもフル。42.195キロなど一生の内やることなどないと思っていた。でも雷門前でイータ君や情報システム部のみんなが応援し、観客がイータ君を見ている姿が想像できる。気合いを入れ半年練習を重ね、また税務署の協力でe-Taxのベストをお借りするなど、当日のユニフォームも用意できた。



「あっ、イータ君がいた！」

さて当日。2010年の開催日は雪であった。

「電子申告はe-Taxで」と書いてある黄色いベストを着て、周りの声など耳に入らず苦しい思いをしながら走った。そして雷門が近づいてくる。

「あっ、イータ君がいた。支部情シスの仲間や署の方々みんなが同じベストを着て、応

援してくれている。」

元気が出てきて周りが良く見えてきた。他のランナーがイータ君とハイタッチをしたり、観客が笑いながら見ている。企画大成功。後日、町会の仲間からも、

「あれ、なあに？」と聞かれ、e-Taxについて改めて説明する機会が出来た事を考えても、十分推進の価値はあったと思う。

そして2011年申し込んだら、また当選した。今年は天気も良く2年目なので楽しく走れた。昨年と同じイータ君のベストを着て走り、芸能人のAKB48のメンバーや小島よしお氏とも並走ができ、TVに映ればいいな、と感じていた。観客からも



筆者2度目の東京マラソン参戦。

「イータックスがんばれー」

と声が聞こえてくる。そして雷門前では昨年同様、多くの仲間とイータ君が応援部隊を組み、その様子はTVで放映された。

また、今年は本会情報システム委員会の矢崎委員も参戦。なんと、お手製のイータ君帽子&変装で、見事なタイムで完走し、この姿は毎日新聞のサイトに掲載された。

(写真②参照)

電子申告推進。我々情報システム部の大事な活動であるが、みな同じ気持ちで盛り上がり、ひとつの目標に向かって楽しく行動する。それが何よりも大事なことであり、結果皆様に理解され、e-Taxを広めるこ



②お手製「イータ君」快調に走行中。(毎日.jpより)

と出来る。

さあ、来年に向かってまたトレーニング開始。次の目標は矢崎委員に負けない着ぐるみかな？

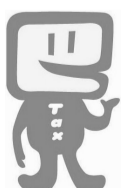
来年走る方、募集します。一緒に楽しくe-Taxを推進致しましょう。

応援、本当にありがとうございました

イータ君

e-Taxをイメージした国税庁のキャラクター。e-Tax関連の各イベントに登場する他、Twitterで国税に関する最新情報を提供している。

http://twitter.com/nta_eta



計画停電に的確な対策を!!

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこの大地震の影響により発生した原子力発電所の事故などで、被災された会員及び納税者の方々に心からお見舞い申し上げます。

今回の地震により発電所にも深刻なダメージがあり、関東地方では「計画停電」が実施されることとなりました。

この計画停電は、事前に決定されたスケジュールと対象地域に基づいて、一定時間の停電を繰り返すことと説明されています。

税理士業務においてもコンピューター利用は必須となっており、計画停電に対して次のような的確な対応をしなければなりません。

■計画停電スケジュールを取得する

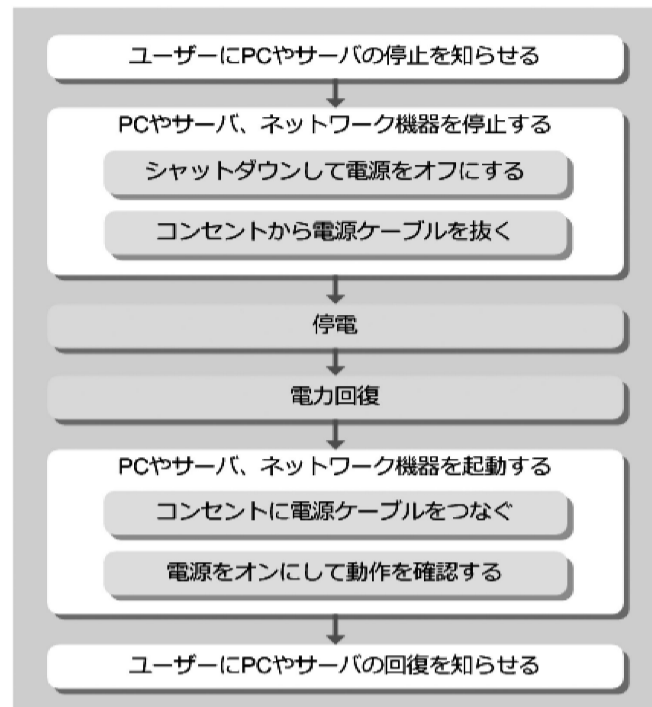
東京電力Webページからスケジュールを入手する。
<http://www.tepco.co.jp/index-j.html>

■事務所内IT環境における停電対応方法を確認する

コンピューター及びネットワーク状況を理解し不測の事態に対応する方法を確認する。また、オフコンメーカー等ではシステムの構成からむやみに電源を落とすことができない場合もありますので、それぞれの停電対応について確認する。

■事務所スタッフ及び関係先へ案内周知する

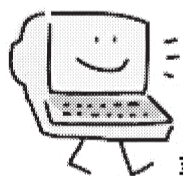
停電により電話やFaxといった通信機器が使えなくなる場合もあるので、あらかじめ「当事務所では計画停電対策をとっている」旨、事務所スタッフ及び関係先へ案内周知し理解を得る。



http://www.atmarkit.co.jp/fwin2k/special/rollbkout/rollbkout_01.html
 ※@IT (アットマーク・アイティ) Webサイトより引用

※補足

- UPS (無停電電源装置) やノートパソコン等で予期しない電源供給停止に備えることもできるが、ネットワーク機器 (モデム、ルーター、HUB等) の電源確保も忘れずに。
- 上記手順において「コンセントから電源プラグを抜く」とあるが、これは停電復旧時の不安定な電圧から機材を守るため。
- 通常業務でのデータバックアップはもちろん、データリストア手順、機材の電源を入れる順番についても周知しておくこと。



情シスミニセミナー

業務データ(パソコン)バックアップ再考
 ~停電への対応を含めて~

この度の計画停電を機に、業務上のデータのバックアップについて再度考えてみませんか。予期せぬ停電による被害を最小限にとどめる方法等も検討しましょう。会員・職員どなたでもお気軽にご参加ください。

(予定内容)

1. Windows Home Server (WHS) によるバックアップ
 - 1-1. ファイルサーバーの勧め
 - 1-2. LAN接続PCの起動ドライブの保存
2. WHS以外の事務所内バックアップ
 - 2-1. 基本的な手動保存
 - 2-2. フリーウェアでの自動保存
3. 離れた場所へのバックアップ
 - 3-1. クラウド上への保存
 - 3-2. Window Live Meshによる自動同期
4. その他

- ◆日時 平成23年4月18日 (月)
午後1時～2時
- ◆場所 教弘会館2階「あじさい」(地図参照)

◆対象 会員・事務所職員 (受講料無料)

※研修受講時間に認定されます。

◆申込 (定員先着20名)

1. 電子メール: タイトルを「ミニセミナー申込」とし、必要事項 (①登録番号 (職員の場合はその旨)、②氏名、③支部) を下記アドレスまで送信
johosystem@tokyozeirishikai.or.jp
2. 電話 03 - 3356 - 4467 (東京税理士会業務研修課)

ミニセミナー 会場地図

